



こんにちは

日本共産党品川区議会議員

# 鈴木ひろ子 です

日本共産党区議団控え室  
鈴木ひろ子事務所中延2-11-7  
日本共産党品川地区委員会

Tel5742-6818  
Tel3783-8833  
Tel3785-2810

このニュースについてのご意見、ご要望をお寄せください。

今年6月から **大幅値上げ** 2万3000人を直撃

## 国保料の引き下げを

請願署名にご協力ください

**高齢者2人世帯  
年金年収200万円の場合**

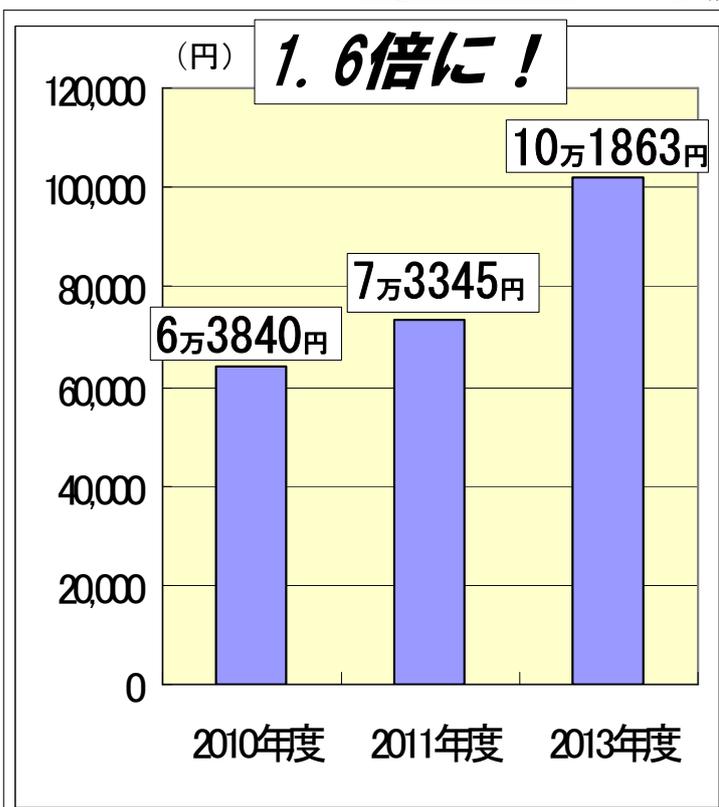
こんな値上げ  
ひどいよ...



6月半ばに国保料の納付書が一斉に送られます。その額を見て「こんなに高いの? どうやって決まるの?」と疑問に思われる方も多いのではないのでしょうか。

国保料は、均等割りりと所得割りの合計で計算されます。均等割りとは、世帯の人数分かかるもので、今年は一人当たり、年間3万9900円です。所得割りとは、世帯の所得に応じて徴収される

**国保料ってどうやって決まるの?**



算定方式変更で2万3000人が値上げ

今回の最大のポイントは、所得割り算定方式の変更です。

所得割りは、今までは住民税を元に計算されてきました。住民税は扶養控除、配偶者、寡婦、障害者、医療費、社会保険料、さらに住宅ローン控除など様々な控除がされ計算されます。と

6月半ば、国保料の納付書が一斉に送られます。大幅値上げが扶養家族、障害者のいる家庭などを直撃。算定方法を今までの「住民税方式」から「旧ただし書き所得方式」に変更するためです。高すぎる国保料が払えず命を落とす人が広がっている今、国保料の引き下げこそ必要です。

## 4人世帯の国保料の推移(品川区の資料より)

(モデル:世帯主が給与所得者で妻・専業主婦と子供2人を扶養)

年収(所得)	300万円(192万)	500万円(346万)	700万円(510万)
2000年度	11万2160円	21万5562円	39万6176円
2005年度	13万6720円	24万3127円	42万6008円
2008年度	15万5146円	27万4106円	43万7526円
2010年度	16万8355円	30万7920円	46万9630円
2011年度 (緩和措置あり)	22万7313円	39万3713円	53万8060円
10年度→11年度への値上げ	1.35倍(5万8958円の値上げ)	1.28倍(8万5793円の値上げ)	1.15倍(6万8430円の値上げ)
10年間の値上げ	2倍(11万5153円の値上げ)	1.8倍(17万8151円の値上げ)	1.36倍(14万1884円の値上げ)
2013年度 (緩和措置終了後)	28万8231円(2000年比17万6071円増)	41万2817円(2000年比19万7255円増)	54万5493円(2000年比14万9317円増)

ところが、今年度から変更となった「旧ただし書き所得」は、所得から33万円の基礎控除を引いただけの額を元に計算されます。様々な控除を受けていた人が大幅値上げとなります。品川区の試算では算定方式の変更で値上げされるのは2万3000人に

も及びます。(変わらない人や下がる人もいます)  
**年金年収200万円2人世帯の場合**(1面のグラフ)  
**2年後1.6倍に**  
 年金年収200万円、2人世帯の場合、2010年度6万3

840円↓今年度と来年度7万3345円↓13年度10万1863円に。2年後は、今までの1.6倍の値上げ、3万8023円の負担増です。

### 未曾有の大災害に 追い打ち

今年度は不況に加えて、東日本大震災、福島原発の被害という未曾有の大災害の影響も受け、中小企業や商店でも売り上げがさらに落ち込み苦しい営業を強いられています。国保料値上げは、必死にがんばっているところに冷や水を浴びせるものです。

### 高すぎる国保料の 引き下げを

上の表をご覧ください。国保料が毎年上がり続け、10年単位で見るとささまじい値上げであることがわかります。  
 高すぎる保険料が多くの滞納者を生み出し、保険証の取り上げられ手遅れで命を落とす人が増えています。

国保財政に占める国庫負担を50%から25%に引き下げたことが最大の原因です。「国庫負担を元に戻し、払える国保料に引き下げを！」の声を大きくあげていきましょう。

**無料**  
**法律・生活相談会**  
**6月22日(水)**  
 午後6:00~  
**鈴木ひろ子事務所**  
 中延2-11-7 3783-8833  
 弁護士さんが対応します。

### 「被災地を訪問して」 小池あきら

政策委員長を迎えて  
 小池あきらさんが志位委員長らと、5月初め岩手、宮城、福島  
 の被災地を訪問して、調査・懇談を行ってきました。この報告を聞き、救援、復興、品川のまちづくりを考える機会にしたいと思えます。

●6月19日(日)

午前10時

●中小企業センター

大講習室

品川の医療と介護をよくする会  
 日本共産党品川区委員会